

一病息災

一病 息災

腎不全と骨・関節疾患

サンモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

近年の高齢化や糖尿病患者の急増にともない、腎不全患者は増加傾向にあります。腎臓には、①余分な水分や老廃物の除去、②塩分や水分量の調節、③血圧の調節、といった働きがありますが、腎不全は、様々な原因により、尿の生成・排泄の基本的な過程である糸球体ろ過が低下

し、上記のような腎臓の働きが阻害された状態の総称です。腎排泄低下により、たんぱく質の最終代謝産物である尿素、クレアチニン、尿酸等が貯留し、水・電解質の恒常性の破綻をきたすわけですが、急速に腎障害が進行し可逆的なケースが多い急性腎不全と緩やかに腎障害が進行する慢性腎不全に分けられます。

どれかが必要となります。透析療法の進歩により安定した透析が可能となつたことは、透析期間の長期化につながり、腎全患者に引き起こされる様々な合併症が明らかとなりました。

なかでも、狭心症、心筋梗塞、脳卒中などの循環器系疾患は直接受命予後を左右する重要な問題ですが、骨・関節疾患も、患者自身の生活の質を左右しかねない大切な問題であることに間

長期透析によつてもたらされた膝関節痛と考えられますが、サナモア光線療法の消炎鎮痛作用により、十分に痛みを緩和する効果があることが確認されました。これからも、長期透析患者の増加により、多くの方がそれに伴う骨・関節疾患を引き起こし、痛み等に悩まされることが予想されますが、サナモア光線治療を早期から試して頂きたいと思います。

症 例：54歳、男性。

主訴：右膝の関節痛。歩行障害。

起始・経過：36歳から慢性腎不全のため、週に3回の血液透析を施行してきたが、約半年前から右膝の関節痛を自覚。当初は歩行時などに軽い痛みを自覚するのみであったが、痛みは徐々に増悪。数週前からは、安静時にも痛みを認め、夜間も痛みのため覚醒することが頻回となつたため当院受診。現在、消炎鎮痛剤を内服し、ペインクリニックにて治療を受けているが、一向に改善はみられない。

既往歴：手根管症候群手術、副甲状腺摘出手術。

治 療：①側臥位にて30分、4灯照射。

膝上(BD)、膝下(BD)、膝裏(BD)、足裏(AB)。

②坐位にて20分、2灯照射。

両側の膝内側(BD)。

経過：初回の治療後から、関節痛の軽減を自覚。数回の通院後、光線治療器を購入し自宅での治療を開始。毎日、患部を中心とした治療を続けたところ、徐々に症状は緩和され、約2か月でほぼ症状は消失。その後も治療を継続しており、良好に経過していると報告を受けた。

病気と光線療法

違いありません

第17回
日本療術学会から

神戸市・ポートピアホテル
平成17年11月13日(日)、14日(月)

肺癌の治療経験



社団法人 神奈川県療術師会

海渡 一二三

報告例は胸部X線撮影で右肺中葉に1センチ大の円形コイン様陰影(写真1)を認め、CT、喀痰細胞診の結果、肺癌と診断された患者である。なお気管支ファイバースコープによる検査は病巣に届かないため受けている。病院では手術を勧められたが、患者は病院の治療を断り、サナモア光線療法と食事療法を行った。

平成8年11月13日から演者の治療院でサナモア光線療法を始めた。カーボンは当初はB-Dカーボン、快方に向かってからA-Bカーボンを使い、4台の治療器で多灯照射を毎日行った。治

はじめに

中葉に1センチ大の円形コイン様陰影(写真1)を認め、CT、喀痰細胞診の結果、肺癌と診断された患者である。なお気管支ファイバースコープによる検査は病巣に届かないため受けている。病院では手術を勧められたが、患者は病院の治療を断り、

治療法ならびに経過

コイン様陰影を認める

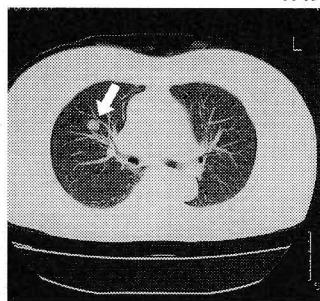


写真1

コイン様陰影を認めない

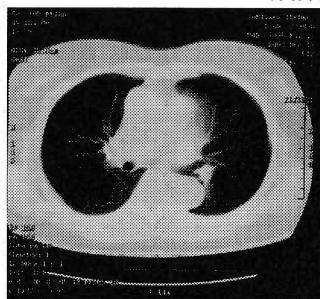


写真2

希望した。この病院は食事療法を取り入れており、演者の仲介でサナモア光線療法も行っているため、これまでにも病院の医師からの紹介患者を治療してきた経緯がある。今回も医師から肺癌の患者を紹介するとの電話があり治療した結果、異常陰影が消失し、完治を告げられた治療経験を報告する。

症例

患者 62歳 女性 会社員
主訴 肺癌。呼吸器系の症状
既往歴 特記すべきことはない。
初診時所見 頭部は悪く痩せて
いる。

中葉に1センチ大の円形コイン
様陰影(写真1)を認め、CT、
喀痰細胞診の結果、肺癌と診断
された患者である。なお気管支
ファイバースコープによる検査
は病巣に届かないため受けてい
ない。病院では手術を勧められ
たが、患者は病院の治療を断り、
サナモア光線療法と食事療法を

取り入れており、演者の仲介でサナモア光線療法も行っているため、これまでにも病院の医師からの紹介患者を治療してきた経緯がある。今回も医師から肺癌の患者を紹介するとの電話があり治療した結果、異常陰影が消失し、完治を告げられた治療経験を報告する。

治療を始めから著変なく推移したので、翌年の1月から治療は患者が来れる日にして、自宅での治療と併用することにした。

治療を始めて約1年半経過した頃、医師から肺の異常陰影が小さくなつたと言われ、医師が手術を勧めることはなくなつたと

言う。その後も順調に経過したので、治療院の治療は2年を経た平成10年11月に中断し、患者に病院での診察結果に変化があれば連絡するように話し、その後は自宅治療とした。患者は自宅で指示通りに治療を受けたが、

治療を始めて約1年半経過した頃、医師から肺の異常陰影が小さくなつたと言われ、医師が手術を勧めることはなくなつたと

言う。その後も順調に経過したので、治療院の治療は2年を経た平成10年11月に中断し、患者に病院での診察結果に変化があれば連絡するように話し、その後は自宅治療とした。患者は自宅で指示通りに治療を受けたが、

治療を始めて約1年半経過した頃、医師から肺の異常陰影が小さくなつたと言われ、医師が手術を勧めることはなくなつたと

結語

肺癌と診断された患者が病院の治療を断つてサナモア光線療法と食事療法を行い、異常な腫瘍影が消失したことが確かめられたので、その治療経験を報告した。なお宇都宮先生は肺癌と診断するには気管支ファイバースコープによる精査が欠かせないと言われたが、医師から肺癌として紹介されたので、肺癌の治療経験とした。

肺癌と診断された患者が病院の治療を断つてサナモア光線療法と食事療法を行い、異常な腫瘍影が消失したことが確かめられたので、その治療経験を報告した。なお宇都宮先生は肺癌と

肺癌と診断された患者が病院の治療を断つてサナモア光線療法と食事療法を行い、異常な腫瘍影が消失したことが確かめられたので、その治療経験を報告した。なお宇都宮先生は肺癌と

生命体には自らを守る防衛的な反応がある。その中軸の一つが免疫系で、先天性にすべての生命体に備わっていて即座に非自己(異物)を認識して排除する非特異的防衛機構の自然免疫と脊椎動物にのみある後天性の特異的防衛機構の獲得免疫がある。獲得免疫は自己か非自己か、すなわち抗原かを見極め、抗体を生成して排除する抗原抗体反応である。しかし獲得免疫は抗原に特異的に反応するため、過剰に反応してアレルギー疾患の、自己の細胞に異常に反応して自己免疫疾患の病因になる。そのため免疫系は抗原に過不足なく反応するホメオスタシス(生体恒常性)を維持する機構でなければならない。

ところで光線(サナモア光線療法)は免疫系と密接に関わっている。簡潔に述べるが、免疫に関する一兆個ともされる細胞、すなわち自然免疫に属するリンパ球(NK細胞)、獲得免疫に属するマクロファージ(食細胞)やT細胞(マクロファージからT細胞やT細胞を攻撃するキラーT細胞やインターフェロンを産生するT細胞)の機能は、カルシウムパラドックスを起こすと低下する。また

自然免疫でウイルスの増殖を抑制するインターフェロンや腫瘍細胞の増殖を抑制する腫瘍壞死因子(TNF)の生成を促し、獲得免疫で自己と非自己を見分けられるマクロファージやマクロファージからの情報を受けて抗体生成の役割を担うリンパ球の細胞分化を誘導する。要は光線に免疫系を強化する大恩があることを信じて、光線を浴びることに尽るが、葦、補足して説明する。

鳥インフルエンザ

サナモア光線協会 医学博士 宇都宮 光明

疾病に対する防衛反応

免疫系に及ぼす光線の作用

所以でもある。自己の細胞が免疫系の強化に努めて自己防衛することを強調する

ミサイル攻撃を仕掛ける免疫グロブリンを産生して(液性免疫)、ウイルスに総攻撃をしかけて撃退する。なお獲得免疫には過去に罹患した病原微生物に対する記憶を保持して免疫系を速やかに立ち上げるアースター効果(免疫の二次反応)があるが、新型インフルエンザウィルスのためパンデミック(世界的大流行)が懸念されるのであるが、同時に個人が免疫系の強化に努めて自己防衛することを強調する

本紙に掲載した海渡氏の報告は、肺癌と診断された患者が病院の治療を断つて、サナモア光線療法で治療し、腫瘍影が消失した治療経験である。このようない結果が得られたことについては、光線の免疫系の機能亢進とか、温熱療法としての効果とか、ビタミンD関連化合物の腫瘍細胞の増殖を抑制し正常細胞への分化を誘導する作用とか、未知なる作用も含めて総合的に考察することが求められるが、軽々に論じることは控えたい。ただサナモア光線療法を個人の病気と闘う防衛反応を高める治療法として、病院の治療に併用することで相乗効果が期待できると考えている。今回の報告例も担当医からあり得ないことと言わざるを得ないが、医学常識では考えたように、医学常識では考え難い効果を経験することも稀ではないからである。

最後に、外にも肺癌と診断されたが病院の治療を一切断り、サナモア光線療法で肺癌を克服したとしか考へられない症例があることを付け加えておく。

ここから免疫療法と呼ばれる治療法が生まれたのである。

本紙に掲載した海渡氏の報告は、肺癌と診断された患者が病院の治療を断つて、サナモア光線療法で肺癌と診断された患者が病院の治療を断つて、サナモア光線療法で肺癌影が消失した治療経験である。このようない結果が得られたことについては、光線の免疫系の機能亢進とか、温熱療法としての効果とか、ビタミンD関連化合物の腫瘍細胞の増殖を抑制し正常細胞への分化を誘導する作用とか、未知なる作用も含めて総合的に考察することが求められるが、軽々に論じることは控えたい。ただサナモア光線療法を個人の病気と闘う防衛反応を高める治療法として、病院の治療に併用することで相乗効果が期待できると考えている。今回の報告例も担当医からあり得ないことと言わざるを得ないが、医学常識では考えたように、医学常識では考え難い効果を経験することも稀ではないからである。

最後に、外にも肺癌と診断されたが病院の治療を一切断り、サナモア光線療法で肺癌を克服したとしか考へられない症例があることを付け加えておく。

治驗例報告

頭痛に対する

サナモアの効果

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 55歳 男性 会社員

症状ある朝突然頭の方半分に重たいような痛みを感じる。激痛ではなかったので四日ほど放置していたが、痛みが消失し

ないため近所の診療所を受診した。そこでは十分な説明のないまま鎮痛薬を処方され、二日間内服したが、痛みは改善しなかつた。次に総合病院の脳神経

外科を受診し、頭部CTによる

ナモア愛用者である母親が口癖のように、病名が分からぬ時にはサナモア光線が一番いいよと言つていたことを思い出し來所した。

症例 78歳 女性
近頃、耳鳴がとてもひどく、日中は周囲の雑音にまぎれてしまふ。気にならないが、夜

福岡県春日市
育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

慢性的な耳鳴を

治療経過　治療は集光器を使用して、BDカーボンで、痛みが強い左前頭部を30分、右前頭部10分、後頭部20分、閉眼にて顔面10分をそれぞれ照射。その後、ABカーボンにて腹部、背部、腰部、足裏、膝を各10分照射した。自宅での治療の際には、左

療法經過　治療は集光器を使用して、BDカーボンで、痛みが強い左前頭部を30分、右前頭部10分、後頭部20分、閉眼にて顔面10分をそれぞれ照射。その後、ABカーボンにて腹部、背部、腰部、足裏、膝を各10分照射した。自宅での治療の際には、左

次第に軽くなり、一週間経過した頃には、わずかにしびれたような感覚が残るのみとなっていました。治療開始一ヶ月後には、今までのものもやもやもとれてすっきりとした気分となり、サナモアの効果を実感させていた。

静かになると、音がだんだんと大きくなってきて、なかなか眠れずに困っていると訴え来所した。自宅の治療器を使ってBD

カーボンで照射してみたけど、耳鳴は、増悪したような気がすると言話していた。

療法経過 治療は、BCカーボンで、第二集光器を使用し、外耳を正面から30分以上照射、その後、耳介の後下部にずらして30分照射してから、後頭部を20分、足裏を20分照射するよう指示した。その後、数か月後に電話連絡を頂き、金属音のような

サナモアカーボンの 類似品にご注意下さい

サナモア A(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)
カーポンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」
ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々
まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。
ところが他社製カーポンに「光線療法学」をセット
したり、当研究所が独自に広めたカーポンの呼び名の
A、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に
流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売
している業者がいます。もとより、このような道理にも
とる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーポンを使用した
場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々
もご注意下さい。

なおカーポンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

治
驗
例
報
告

腰椎圧迫骨折による

症状がサナモアで改善

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 55歳 女性 主婦
症状 本年四月頃から腰痛を自覚しており、病院で検査を受けたところ、腰椎の圧迫骨折と診断され、これは治りにくいと説明された。七月にはいり、症状が続いていたため、サナモア愛用者の親戚に当院をすすめられて来所した。

当初は毎日通院されたが、六日目から腰痛が徐々に軽減し

てきたので、今後は自宅での治療に切り替えるとの申し出を受け、自宅での光線治療を開始。隔は、3日以上あけないよう八月にはいり、腰痛はほとんど消失したとの報告を受けたが、サナモアで良くなつたことを大変喜んでいた。(TEL)〇四四一七二二一五〇六七)

治
驗
例
報
告

脳梗塞に伴う障害を

サナモアで治療

カワグチ光線整体療法院

川口一憲氏報告

症例 66歳 女性
症状 3年前に突然倒れ、病院の頭部CT検査にて脳梗塞と診断されて入院。一週間で退院し

ないといった性格であったため、こもりがちとなりストレスを感じながら生活していたが、知人の紹介にて来所した。

療法経過 治療はABカーボンを使用。最初は側臥位にて、腰部と臀部に30分、膝と顔面に10分、腹部、後頭部、足裏に10分の照射を施行。仰臥位に体位を変換後、集光器を使用して左右の頸部を10分、左右の腰部側面と左右の膝にそれぞれ10分ずつ照射して治療を終了した。開始嫌いで、周囲に弱みを見せたく

**全自動光線治療器
はづらつさんと
ジョイントカーボン**

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む

光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そ

で、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なれば、安全性能を保ち、事故のため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてしまった。この点を改良したのが全

自動光線治療器はつらつさんとです。安全性能を保ち、事故のため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてしまった。この点を改良したのが全

腹部、膝、足裏の基本部位への全身照射を45分施行。治療の間隔は、3日以上あけないように指示した。初回の治療では不安な様子が伺えたが、終了後に全身の血流が一気に促進されるような感覚を感じたと話していた。三回目の治療後には、右手第二指の感覚がもどってきたと話さ

(TEL)〇四二二一三一三九九〇)

れ、更には、右足の先端に脛の折り目の感じが分かると喜ばれた。二ヶ月が経過した頃には、

好きなアニメで今まで右側のボルに反応できなかつたのに打ち返せるようになったと喜ばれ、現在は月に1、2回のベースで治療を行つている。

不整脈による脳梗塞を
サナモアで治しました

静岡市 前田 善喜様

約二年前から、不整脈と高血
圧で投薬を受けておりました。
平成十六年の暮れ、私は車で信
号待ちをしていて、発進しよう
としたところ、突然、左半身が
動かなくなり立ち往生してしま
いました。後ろのドライバーが
異変に気づき、パトカーを呼ん
でもらったのですが、病院の検
査では、不整脈が原因の軽い脳
梗塞と診断されました。暮れで
あり病室は満床であったため、
年明けに精密検査を予定し帰宅
したのですが、入院できなかっ

たことが幸いし、自宅でサナモア
を存分にかけることができま
した。当初は、足裏の感覚が鈍
く、スリッパやサンダルをは
て歩くと片方だけ落としてしまつ
たり、排尿、排便の感覚がは
きりしなかつたため紙おむつを
使っていました。自宅では全身
照射の後に、頭頂部、後頭部と
足裏を中心に照射を行いました
が、年が明けて一月六日に病院
を受診した際には、当初見られ
た歩行障害、構音障害、左手の
しびれもほぼ改善していました。
驚くほどの改善に、病院の医師
も驚かれ、どんな治療をしたの
かと尋ねられたので、「健康と
光線」を差し上げてきました。

昨日も元気に畠仕事をしてきま
したが、サナモアには本当に感
謝しております。

サナモアのおかげで 手術をせずにすみました

兵庫県 橋本 綾子様

先天性股関節脱臼を患う八十
歳の私のことです。公的職業
をしている時に、腰を痛めて



しました。大学病院では、今手術をすれば、九十歳までは大丈夫と言われたため、病室が空くのを自宅にて待っていましたが、その間、家でサナモアを一生懸命にかけました。使用したカーボンはBとCです。その結果、病室が空いた頃には、すっかり痛みはなくなり、手術を受けるのをやめました。その後も今日に至るまで、ずっとサナモアを愛用し自宅での治療を続けてきましたが、結局、手術をせずに、今日まで杖を使って歩くことができました。日々、楽しい老人の生活を送らせて頂いており、心より感謝致しております。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。については体験記をお送りくださいますよ、お願ひいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

(本紙の無断転用を禁止します。)

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三一五二八一
三七一二一五三二二

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

医学博士 サナモア光線協会

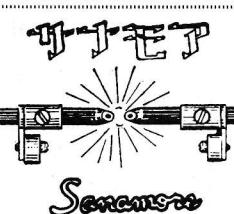
宇都宮 光明

の事業を行います。

サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行

二、サナモア光線治療師の募集と育成



サナモア光線協会
趣意書